

大垣市 農業委員会だより

第3号

平成25年8月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)

☎ 0584-81-4111(内線532)
Fax 0584-81-4899

ごあいさつ

大垣市農業委員会

副会長 大橋 正美



乾いた田に水が入り、田植え

も過ぎ、濃い緑が水田一帯に見える季節になりました。農家にとりましては、これからのお天気次第では、良作になるのか不作になるのか、また、台風やゲリラ雷雨など、心配ごとの絶えない暑い季節が続きます。

こうした中、農業委員会活動におきましては、農事改良組合長様をはじめ、皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございます

います。

さて、昨今の情勢を見ておられますと、環太平洋戦略的経済連携協定(TTP)の対応についての意識調査では、不安感を抱いているという意見が多くあります。これからの農業はどのようなに変わっていくのでしょうか。今後、農業委員会の役割も、ますます重要になってくると思います。

一方、地域に目を向けますと、

農業従事者は高齢化しており、特に市街化区域内の農地等は担い手の引き受けもなく、耕作放棄地に近い状態になりつつあります。そのため、農業委員による農地パトロールを行い、現状を維持している状況です。将来的な観点から、市街化区域内の農地管理について、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

内 容

- ◆ごあいさつ 1
- ◆農業委員の紹介 2
- ◆農地パトロール 3
- ◆担い手紹介
(農事組合法人 大垣南) 4
- ◆経営所得安定対策 4
- ◆農業者年金

農業委員の紹介

各地区の農業委員さんのコメントを順次紹介します

赤坂地区

澤 武



赤坂地区について

赤坂地区は、大垣市の北西に位置し、揖斐川、杭瀬川を水源とする農村地帯です。

この水田地帯に、雑草、雑木が多く茂り、いつそう目立つて見えるのが、問題の耕作放棄地です。

耕作放棄地問題について、国がいろいろと方策を進めています。この問題は、農家のみに留まることではありません。耕作放棄地は、道路の見通しが悪くなり、重大交通事故の要因となったり、ゴミの不法投棄場所となつ

たりする等、国民生活を脅かします。

住民の理解と協力を得たり、関係機関との連携を密にして、1件でも多く問題を解決し、地域住民と共存共栄できる農業こそ真の農業です。それにより、農産物の自給率の向上につながり、国民から信頼される農業を構築できるものと確信し、今後も耕作放棄地の解消に向けた活動を継続していきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いします。

牧田地区

小谷 康夫



中山間地農業と獣害対策

上石津地域は、全地区が中山間地で、他地域と比較して畦畔が大きい。そのため、耕作面積が狭く、その上、獣害による農作物への被害が年々拡大し深刻化しています。これまでは、各農家が個別に防護柵を設置し対応してきましたが、設置方法がバラバラなため、

獣害が日常化し増加していました。このため、耕作意欲を無くし、担い手農家や営農組合に依頼しても引き受け手がなく、耕作放棄地が増加していました。

そこで、牧田地区馬淵沖では、平成23年3月に獣害対策協議会を立ち上げ、県内外の

先進地を視察したり、講演会に参加して情報収集を行いました。

このたび、岐阜県鳥獣被害対策緊急支援事業と大垣市鳥獣害対策事業を活用し、防護柵を設置しました。その結果、防護柵を設置した地区の被害は減少しましたが、他の地域の被害増加が懸念され、全地域での防護柵設置が望まれます。

獣害対策で大切なのは、「囲う、捕る、環境整備」の3つの要素を進めることです。獣害対策は、次世代に農地を残すために強力に進めなければならぬと思います。

農地パトロール



農業委員会では、食糧の生産基盤となる優良農地の確保と有効利用の促進を図っていくため、耕作放棄地の把握や違反転用の発生防止を目的とした農地利用状況調査(農地パトロール)を行っています。そのため、大垣市では、8月から9月までの2カ月間を「農地利用状況調査(農地パトロール)月間」として設定し、市内農地の現地確認によって実態把握に努めています。

このため、農業委員や市職員などが、農地を見回り、耕作放棄されている農地等の調査をします。各農地への立ち入りやお話を伺うこともあります。ご理解ご協力をお願いします。

耕作放棄地と判断された農地の場合は、土地所有者の意向確認が行われます。利用状況調査後の区分で、耕作放棄地として判断された対象地の所有者に対しては、農地の今後の扱いに関して意向確認が行われます。これは「自分で耕す」「他人に貸す」など、今後対象地をどう扱うかの予定を所有者に確認するものです。この結果に従い、対象地を適正に管理していただきますようお願いします。また、農業委員会では農地のあっせんも受け付けております。

農地は食料の生産基盤である大切な資産です。また、遊休農地は不法投棄や病害虫の発生、有害鳥獣の隠れ場所になるなど、近隣の農地や住民に大変な迷惑がかかります。農地をお持ちの方は適正な管理をお願いします。



■ 担い手紹介① 農事組合法人 大垣南

農事組合法人大垣南は、今年1月に、50年続いた大垣南営農組合から法人組織として、新たなスタートを切りました。

多芸島地区を中心に農地の集積を図るため、認定農業者や集落営農などとエリア分けを行い、作業効率の向上、コストの削減に努めています。農地保全には、地域の協力と理解が不可欠であり、土地条件にあった作物選定を行いながら、計画的に農業経営を行っています。

今後とも、農用地利用集積円滑化団体(JA)の仲介による農用地の利用権設定を進め、耕作放棄地が出ないようにしていきたいと考えています。



概 要

住 所：大垣市入方2丁目54番地の1

代 表 者：名和 正

設立年月日：平成25年1月1日

(旧大垣南営農組合は昭和38年に設立)

構成員数：282名

経営面積：約100 ha

経営内容：主食用水稲、水稲種子(原種)、水稲育苗、
飼料作物(稲発酵粗飼料用稲、飼料用米、稲わら)、
蜜源作物(れんげ、なたね)、葉草(カミツレ)、
水田の部分作業受委託

電話番号：0584-89-2522

経営所得安定対策



平成24年度までの農業者戸別所得補償制度に代わって経営所得安定対策が実施されることになりました。

内容は昨年までとほぼ同様で、次のようになっています。

①米に対する「米の直接支払交付金」(全国一律単価)

一定の要件を満たした農業者に対し、10aあたり15,000円が交付されます。

また、米の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合は、差額を基に変動補てん交付金が交付されます。(参考:22年産米 15,100円/10a、23年産米・24年産米については交付なし)

②麦・大豆等について、品質に応じて単価が設定され、収量に応じて交付する「畑作物の直接支払交付金」(全国一律単価)

③自給率向上のポイントとなる小麦・大豆・飼料作物・新規需要米などについて、生産拡大を促す「水田活用の直接支払交付金」

(以下の表参照)

平成25年度 経営所得安定対策(水田活用の直接支払交付金)単価表

(単位:円/10a)

作物名	平成25年度大垣最高単価					
	一律単価 (国・県設定)	産地資金(地域で設定)				生産量向上 の取組
		担い手加算 (3ha以上)	団地加算 (1ha以上)	振興作物加算 (10a以上)		
戦略作物	小麦・大豆・飼料作物	58,000	35,000	23,000	—	—
	飼料用米	90,000	80,000	—	—	10,000
	稲発酵粗飼料用稲	80,000	80,000	—	—	—
	加工用米等	30,000	20,000	—	—	10,000
	2毛作助成(戦略作物同士)	15,000	15,000	—	—	—
その他作物	みつ源作物(れんげ・ナタネ)	20,000	12,000	8,000	3,000	—
	地力増進作物(れんげ)	15,000	7,000	8,000	3,000	—
	さといも・ブロッコリー・マコモタケ・加工用野菜	40,000	10,000	—	—	30,000
	ブロッコリー(2作目)	10,000	0	—	—	10,000
	その他の作物	10,000	10,000	—	—	—

※地力増進作物以外は販売が要件となります。 ※生産量向上の取組は一定の要件を満たす必要があります。

老後の備えは
万全ですか?

農業者年金に加入しよう!

メリットいっぱい!
国が支える担い手積立年金

加入要件

60歳
未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業従事

3つの要件を満たせば
どなたも加入できます!

※有利な国民年金の付加年金も併せて
加入ください。

ポイント

- ① 少子高齢時代に強い積立方式の確定拠出型年金です
- ② 保険料額は自由にお選びいただけます(月々2万円~6万7千円)
- ③ 終身年金80歳までの保証付きです
- ④ 公的年金ならではの税制上の優遇措置があります
- ⑤ 意欲ある担い手には、保険料補助があります(最高1万円)



【お問い合わせ・申し込み/大垣市農業委員会 または 岐阜県農業会議 ☎058-268-2527】